

秋のお彼岸

九月 二十日(木) 彼岸入り
二十三日(日) お中日
二十六日(水) 彼岸明け
宗祖日蓮聖人
お会式

九月二十日から秋のお彼岸です。
お彼岸には追善供養の心をもつて、お塔婆をあげ、墓参をし、こころ静かに故人を思い偲ぶよう心掛けましょう。

十月十二日は宗祖日蓮聖人のご命日にあたる「お会式」です。本年は十一時より報恩法要を厳修致します。ご先祖の供養や家内安全・交通安全の祈願を致します。今回は「たちばな新聞」に二枚の葉書が同封されています。お彼岸のお塔婆申し込み用と、お会式のお塔婆の申し込みとお会式の出席の記入用になっています。尚、当日はお弁当の用意があります。

日蓮聖人遺訓十一

「異体同心なれば万事を成じ
同体異心なれば諸事叶うことなし」
(異体同心事)

一本の矢は折れても三本の矢は折れないという。人が心から一致協力すれば不可能ということはない。最近は何れも異心による世の混乱が目につきます。



水谷山
寶清寺



境内には毎年たくさんのお花が咲きます。六十一号より裏面に宝清寺のお花を紹介いたします。

故人を想い

故人の冥福を祈る

法事とは仏法の事で、仏の教えを意味しますが、現在では、一周忌・三回忌など、故人の追善供養の行事を法事と呼んでいます。自分が現在あるのは、ご先祖があつてのことです。そのご先祖様の報恩に感謝し追善供養として営まれるのが法事という仏事であり、先祖をお守りする者の善行なのです。在りし日の故人を想い、心静かに法事を営みご先祖の恩に報い、家族の幸せを祈りたいものです。

最近、某所で次の格言を目にしました。
① 高いつもりで低いのが教養
② 低いつもりで高いのが気位
③ 深いつもりで浅いのが知識
④ 浅いつもりで深いのが欲望
⑤ 厚いつもりで薄いのが人情
⑥ 薄いつもりで厚いのが面皮
⑦ 強いつもりで弱いのが根性
⑧ 弱いつもりで強いのが自我
⑨ 多いつもりで少ないのが分別
⑩ 少ないつもりで多いのが無駄



そのつもりでがんばりましょう。というものでした。我々が日常陥りやすい弱点が明確に表現されていて思わず笑ってしまいました。同時に作られた方の機知に感心しました。仕事が終わり自坊に帰り、早速寺務所で披露したところ居合わせた寺務員の反応は、「これは良い、部屋の壁に貼っておこう。」「家族に紹介しよう。」「宝清寺のつもり百箇条を作りましょう。」など、様々でした。早速一つ作ってみました。

- ⑪ 遠いつもりで近いのが男女の愛
⑫ 近いつもりで遠いのが親子の愛

皆さんも作ってみませんか。日常生活を見直すきっかけになるかもしれませんよ。

追善供養は追善回向でもありません。
回向とは、「回」はめぐらす、「向」はさし向けることを意味しています。自分が行った善行を他にさし向けることです。従って、法事の供養による功德は自分が受けるのではなく故人に差し向けることだといえますが、一方昔から「七部獲一」という言葉がありま

す。これは、故人に対して熱心に追善供養しても、その功德の七分の一しか受けられず、残りの七分の六は生きてある人に回して行くという意味です。従って、法事を修することは、故人のためだけでなく、法事をする自分のためでもあると言えるのです。

法事という宗教的儀式を通して仏道を学び、仏さまとの縁を結ぶ得がたい機会と考え、故人の法事を計画いたしましょう。
当山では、故人の年回に当たるとお宅には三ヶ月位前に葉書でお知らせするようにしています。

葉書が届きましたら法事をされる日程調整を早めに管理事務所と行って頂きますようお願いいたします。
法事当日のお花・お供物・お塔婆・会食等の詳細についての打ち合わせは後日でも大丈夫です。

お知らせ

「たちばな新聞」六十一号発行から裏面にも記事を掲載することに致しました。当山では沢山の仏様を勧請しお檀家や桶墓苑使用のご先祖ご家族をお守りしております。また、当山には季節ごとに沢山の花々が咲いております。そこで、裏面には、「宝清寺勧請の仏さま」及び「宝清寺に咲く花々」の記事を連載いたします。

ごお日の
相り供おこ
談ま養祓の
くす・いほ
だ°月やか
さ詳命`に
いし日年も
。く供忌諸
は養供祈
寺等養願
務も・や
所行祥自
まつ月動
でて命車

開安星除方虫商交
運産 厄位 売通
祭 封繁 安
守守 祈除 盛 全
りり 願け じ祈 守
札札札札札札札

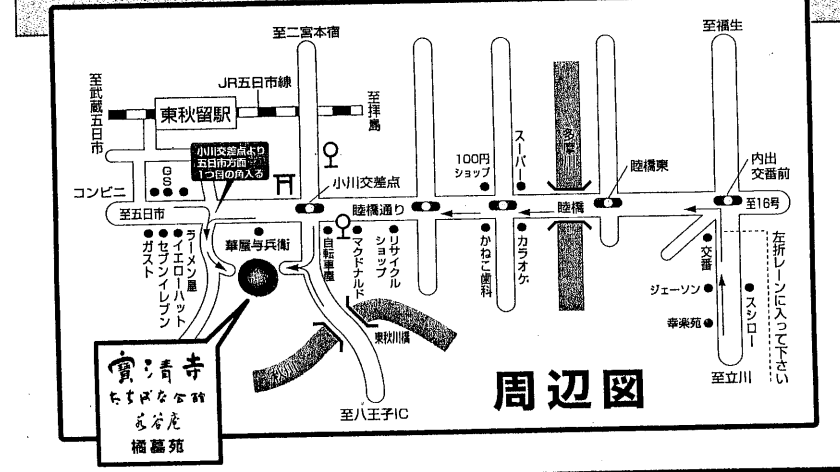
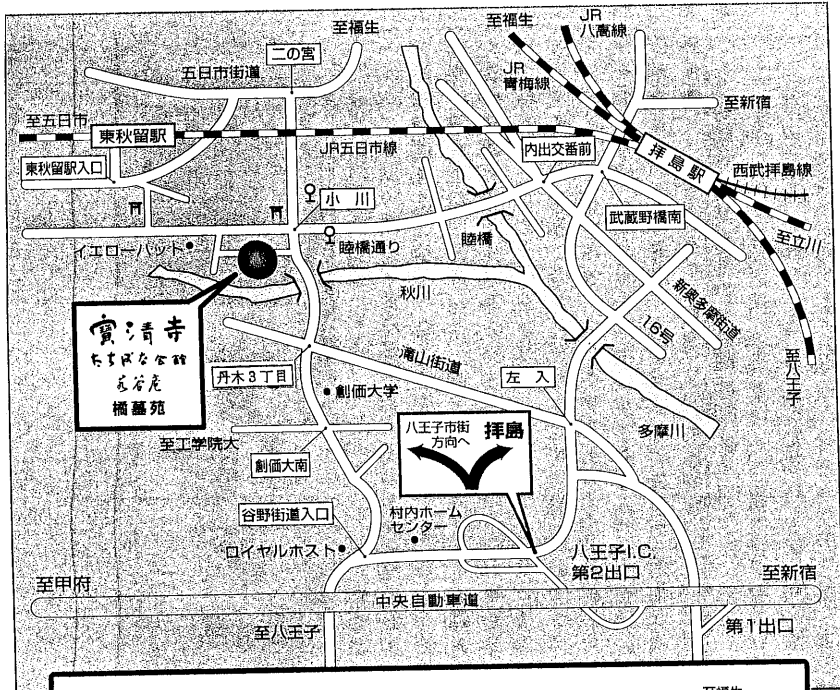
御祈願・御供養

十九九八七五五四四二二
一月月月月月月月月月
月十十月十月十月十月
十三八二七七八八六五
日日日日日日日日日日
小宗池龍松本身伊立積宗積
松祖上ノ葉尊延豆教尊祖尊
原御御口谷始御法開降降涅
法會入難難頭入難宗誕誕祭
會式山會會會山會會會會

日蓮宗の聖日

九十七七四三
月月月月月
月彼十十八
岸八七七八
中日日日日
塔おお孟花塔
婆會施蘭盆祭
供式鬼會供
養要要養

宝清寺年中行事



宝清寺への衍まじかた

「な」す「の」共とがのま
如ど阿°釈如働通いあおつ宝
来多弥そ迎来きでうり仏り清
く陀の如「をす誓、像し寺
の如他来と持がいた、まはあは
意如来もとばそ立「衆生をい。の
志来「大日おすに。もる。こす
を様、「名れい、ま他てを。の
受けお薬日如来。迎仏、様別と
継り師如來「様様別と
います如來「様様別と
です来「様様別と
、。」「まはは々は「味体お

宝清寺の仏さま

す仏ま日命れわ菩・清て中菩とい今
。像す蓮をわが薩無寺呼か薩もるの
に°菩贈れ日(が)辺でばら「聞の世
つ次薩し衆蓮行はれ現できがの
いは呼尽をで薩四こたがれ「を
ご「称力救は、常薩も薩地菩薩お
説連ます日行「あ様蔵薩「う
明聖こしる蓮菩へりの菩様どと
い人となた聖薩浄ま総薩はす努
た「がのめ人・行す称と「力
し「のあでもにも安菩°とは地もし
まおり、わ。立薩宝し地蔵

興り策探し花月つ頃数か蓮の
でをしたの頃けはから聖花日
し楽`にが時にま五所で人を蓮
よし柑宝、期つす月植すの大宗
うむ橋清橋はき。頃わ。ご切で
の系寺の過ま実でつ宝紋には
ものを実ぎすは、て清にし、
一香散をま。九。可い寺もま橋
憐まに使う(た
なすもわ。た
白°橘れそぢ
い花のてれば
花の木いはな
を見がる日

宝清寺の草花



●交通のご案内●

■バス利用の場合



■お車利用の場合

- 中央高速道、八王子I.C.から約15分
- 立川方面から約15分
- 武蔵村山方面から約25分
- 羽村方面から約15分

■電車利用の場合

